

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270300700		
法人名	医療法人 謙昌会		
事業所名	グループホーム あんずの家		
所在地 (電話番号)	〒031-0802 青森県八戸市小中野五丁目2-5 おおまちマンション5階 (電話) 0178-22-1522		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 17日	評価確定日	平成 20年 12月 29日

【情報提供票より】(平成20年9月30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての 階 ~ 5 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(9月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	3 名	要介護2	0 名		
要介護3	1 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.3 歳	最低	79 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 謙昌会 総合リハビリ美保野病院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内中心部に近い立地条件の一角に位置し、5階建てマンションの5階部分のフロアにてサービスの提供がなされている。居室には利用者それぞれの使い慣れた生活用品が適度に持ち込まれ、利用者の個性や好みを尊重した個別の工夫・取組みが随所に見られる。地域との関わりにおいても町内会との交流に特に力を入れており、交流行事はもちろん、災害時の避難訓練の協力も得られている。管理者を含め、ホーム職員と利用者が共に笑顔で一緒に楽しい笑い声が印象的なホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での主な改善課題は特になし。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者を含め全職員での話し合いがなされており、自己評価で見出された課題については、即座に具体案を検討し、改善を図る取組みがなされている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>日々のサービス状況、自己評価、外部評価の結果並びにその取組みについての双方向的な話し合いがなされており、会議のメンバーから出された意見を真摯に受け止め、サービスの向上に活かせるよう努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>オンブズマンの導入や意見箱の設置により、家族から意見・苦情を出しやすくなるような取組みがなされている。また家族から出された意見・苦情については、必ずミーティング等で話し合い改善を図っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>隣り近所・地域で開かれる催し物や行事等に参加したり、ホーム側で主催する行事に町内会の住民を招いたり、地域地元中学生の職場体験実習の受け入れ等をして、地域住民との交流や地域貢献が積極的に行なわれている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、家庭生活の延長として地域や自然を取り込んだ理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者一人ひとりのケアプランは、理念に沿って作成されており、カンファレンス等で意識付けが図られている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域、隣近所の行事である灯籠流しや敬老会等に参加したり、また、中学校の職業体験実習も積極的に受け入れをしたり、地元の人々と交流することに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価や外部評価は、年2回全職員に配布し、また、運営懇話会(運営推進会議)でも配布するとともに、改善に向けて法人全体で取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、事業計画、オンブズマンの訪問報告、自己評価、外部評価の結果、防災訓練の報告、行事等の計画や活動報告等を行っており、そこでの意見をサービス向上に生かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外に行き来する機会はほとんど無く、運営や現場の実情、方針などについては推進会議の中にて報告・協議し、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>ホームの運営や現場の実情の理解をさらに深めてもらう為に、運営推進会議以外にも市町村担当者のもとへ行き来する機会を設ける取組みに期待したい。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修等に参加したり、伝達講習等で学んだりすることで理解を深め、必要と思われる利用者には活用できるように支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は、虐待防止等の外部研修を受け、全職員の理解を深めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は、重要事項説明書に基づいて、時間をかけて説明を行い、利用者、ご家族の不安、疑問点を尋ねながら行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話連絡にて近況を報告している。また、金銭管理は出納帳に記入し、家族からサインで確認をとっている。職員の異動等については、広報でお知らせしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が苦情や相談の窓口になっているほか、オンブズマン制度を取り入れ、意見箱を設置するなど意見や不満を気軽に出せるようにしており、それらの意見を運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はあるが、引継期間を設けたり、異動後も利用者に面会に来たりするなど利用者へのダメージを最小限にするよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外で開催される研修には、多くの職員が参加するよう配慮されている。また、働きながらの各種資格取得に関しても推奨している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修や交流会に参加し、他の事業所との情報交換などを業務に生かし、質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前のホームの見学やご家族の協力を得ながら、急な環境変化とならないよう配慮している。また、なじみのものを持ってきて頂き、安心感を持ってもらえるようにしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の能力に応じて、買い物や食事の後片付けなどを一緒にいき、和やかに生活できるような工夫がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人やご家族等からの情報や普段の生活の中での様子等から本人の意向を把握するようにしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族の意向を伺い、医師や看護師を含むチームで定期的に話し合い、本人がより暮らしやすいためのケアプランを作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を確認し、介護計画は定期的に評価するとともに、状態の変化が見られた時は、その都度、本人やご家族と話し合い、見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者やご家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院介助等に柔軟に対応している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族が希望するかかりつけ医になっており、必要時は通院介助も行っている。診察結果はその都度、ご家族に報告し、情報を共有している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合の対応については、入居時同意を得ている。また、状態の変化時は、その都度、ご家族や医師と相談し、治療や介護の方針を決定し、職員全員が情報を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人の尊厳、プライバシーの確保、権利擁護、個人情報保護法などについての研修に参加し、全職員に内容を伝達している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日課に縛られることがないよう、個人の体調や希望を尊重した臨機応変な個別支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒に食事を取り、和やかな雰囲気であった。食後の後片付けも一緒に行われていた。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の生活習慣や要望を聞き入れ、またその日の気分や体調に応じて臨機応変に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食後の後片付けや買い物、地域交流など個々に合わせた役割や楽しみを把握し、張り合いのある生活への配慮がなされていた。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	個々のニーズに応じて、心身の活性に繋がるよう、散歩、買い物、ドライブ等に出かけている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を開催し、拘束をしないための工夫と見守りを重視したケアを行っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	マンション5階のフロアを利用したホームであり、階段、エレベーターなどが玄関前のため、家族の同意のもと鍵がかけられているが、利用者の行動を把握し、いつでも鍵が開けられる状態である。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡網を作成し、地域住民の協力のもと、避難訓練を実施している。また普段からも地域住民との交流を図り、災害時の協力要請について働きかけている。		マンション5階のフロア、上層階であるということを重視し、今以上の万全の備えとしてマニュアルの作成と可能であるなら地域住民以外にマンションの住人からも協力が得られるような取組みに期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分補給量を個々に記録されており、一人ひとりの摂取状況が把握されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルが作成されており、消毒方法は徹底されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって使いやすいなじみの物を設け、くつろげるスペースを作り、居心地良い空間を作っている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者やご家族の意向を伺いながら、なじみの家具や寝具、食器などを準備し、安心して生活できるよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。